

和洋女子大の学生有志が『書店、風に 中高生に読んでほしい本を紹介』

29日まで 市川駅南口図書館とコラボ展

女子大生がお薦めする中学生と高校生に読んでほしい本。市川市市川駅南口図書館で29日まで、和洋女子大とのコラボ企画展「中高生にすめる一冊」が開かれている。

同大の日本文学文化学科の学生有志33人がそれぞれ、有川浩や辻村深月、伊坂幸太郎などの人気作家の作品や、本居宣長や谷崎潤一郎、司馬遼太郎などの名著など33冊をピックアップ。大学で学んだデザインアートを生かして、作品の魅力を伝えるために書店で使われている手作りのポップ広告も制作した。同館の宮野源太郎館長と同科の小澤京子准教授は「中高生には少し背伸びをすれば届くお薦めの本。大人には多感だった時代を懐かしみ、若者の動向を知る良い機会になる」と来館を呼び掛けている。

ルイス・サッカーの『穴』を薦めた鳥飼理乃さん(1年)は「幼いころから図書館に毎週通っていた。教員志望なので、中高生に関わることのひとつとして取り組んだ。皆さんの



お薦めの本をアピールする鳥飼さん(左)と松本さん

少し先輩が読んできたと思う。私が中高生のとき、この企画があったと

ら良かった」と話す。

有川浩の『阪急電車』を薦めた松本萌里さん(同)は「家で本に囲まれて育った。本の魅力は、登場人物の体験や非現実的なことにワクワク、ドキドキできること。中高生は本に触れる機会が少ないと聞くので、関心を持つきっかけになってほしい」と願っている。

同館の開館時間は午前9時半から午後9時(土・日曜日・祝日は同6時)まで。月曜日は休館。

なお、所蔵数が少ない(☎325・6241番)。

問い合わせは同館

いるため、書籍が貸出し中の場合あり。